重点教育目標　自立・自拓
『自立し，自ら将来を切り拓ける生徒の育成』
北斗市立石別中学校　学校通信
カリヨンの丘
Hill of carillon
2022・6・1（THU）NO.2

小学校・中学校・町内会・渡島学園分校の一致団結
～４者合同石別ふれあい大運動会～

校長　星　　正　樹

５月２０日（土）に肌寒い曇天のなかでしたが、第２６回　四者合同石別ふれあい大運動会が盛大に行われました。

石別小学校・中学校と石別町内会、そして今回は北海道七飯養護学校おしま学園分校が加わり、四者となりコロナ禍以前のように、賑やかな１日を、児童・生徒・地域住民が一緒に楽しみました。

この日のために児童・生徒は、体育の時間や全体練習・総練習のなかで少しずつ力をつけてきました。紅白対抗の「綱引き」や「玉入れ」、「大玉転がし」「リレー」では、はじめは苦労し、何回も練習を重ねるごとに、仲間と少しずつ息が合うようになり、運動会当日を迎えました。個人種目・紅白対抗とどれをとっても全力で取り組み、見ごたえあるものとなりました。

ご来賓の皆様、地域・保護者の皆様、早朝よりご観覧・ご声援いただきありがとうございました。

今後の教育活動も、北海道七飯養護学校おしま学園分校、小学校、地域と一緒に連携、協力しながら行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、話は変わりますが、「先手あいさつ」を知っているでしょうか。あいさつをするときに、相手より先にあいさつをすることです。スポーツでは「先手必勝」という言葉をつかいます。（相手よりも先に攻撃を仕掛ければ、必ず勝てるということ。）

先にあいさつされた人はほとんどの方が嬉しい気持ちになります。あいさつで人を嬉しくさせることができたら、なんて幸せでしょうか。自分からあいさつを先にして、相手を嬉しくさせ、自分も気分よく一日を過ごすようにしましょう。（私も朝の散歩などの時に、先手あいさつに心がけています。）

心に残る運動会

運動会実行委員会　教諭　阿　部　修　士

雨天が心配されていましたが、当日はすばらしい天気を私たちに与えてくれました。今年は、自然の驚異とありがたさの両面を改めて感じさせられました。今なお、苦しい日々をがんばっておられる方々のためにも、今日の天候に感謝し「精一杯の運動会を発表する大切な機会だ」との意識を強く持ち、走ったり、演技をしたりの運動会でした。　心に残る運動会とは、

○ 子供一人ひとりが自分たちの持てる力を最大限に発揮し、主体的に作り上げていくという姿。
○ 中学生が係活動や運営等で、全体をリードしていく姿。
○ やらされるのではなく、積極的にやりながら楽しもうとする姿。
○ 全体を盛り上げ心に残る物にしようと企画していただく町内会の人々や分校の方々の支援の姿。
○ 時には生徒の中に入って共に競技を行ったり、子どもたちの姿を一生懸命に見ながら声援を送っている保護者の姿。

これらの姿がグランドいっぱいに繰り広げられたとき、心に残り感動を与える運動会になるんだと改めて感じさせられました。

特に３年生は、中学校最後の運動会となりました。小学校から９年間の集大成として準備やダンスなど積極的に取り組むなど、思い出の多い運動会になったと思います。

また、大きな思い出を残し、運動会を成功させることができた陰には、保護者をはじめ、家族や地域の人など、多くの方々のご協力とご支援があったことからだと思います。

すばらしい結果を残すことができた今回の運動会に心から拍手を送ります。ありがとうございました。

４者合同石別ふれあい大運動会から

練習では、天候が思わしくない日もありましたが、当日は児童・生徒や地域の皆さん、ご来賓の皆さんのご協力で、会場は熱い声援でいっぱいになりました。思いっきり活躍でき思い出に残る１日となりました。

来年度もよろしくお願いいたします！

６月の主な行事予定

1	（木）	避難訓練	16	（金）	プール授業
2	（金）	プール授業	19	（月）	全校朝会　壮行式（バドミントン）　尿検査三次回収 イングリッシュキャンプ申し込み〆切日
3	（土）	中体連陸上（渡島）			
5	（月）	教育相談（～９日）	20	（火）	渡島中体連①
7	（水）	尿検査二次回収	21	（水）	渡島中体連②（バドミントン個人戦）
8	（木）	花壇整備	22	（木）	渡島中体連③　北斗市PTA第1回理事会
9	（金）	プール授業	23	（金）	PTA会費納入（～6/30）
12	（月）	夏服完全実施	27	（火）	第2回教材費集金日　市教研一斉サークル日（午前授業）
13	（火）	地域清掃	30	（金）	歯科健診

『いじめ根絶を目指して！！』全校生徒で考えるいじめ撲滅集会

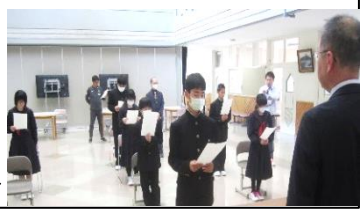
３０日に『いじめ撲滅集会』が行われました。**『いじめをさせない、しない、見過ごさない』**ためにも、全校生徒で「いじめ」について真剣に考えることができました。「一人一人を認め合う」「自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを受け取る」など全校生徒で**『いじめ撲滅宣言』**を行いました。この集会で考えたことや宣言を忘れず相手意識に立った生活を心がけていきましょう。

いじめはどこにでもあります。文科省によると、令和３年度の小・中・高等学校および特別支援学校のいじめの認知（発生）件数は６１万５３５１件で増加傾向とのことです。本校では、先日のいじめ調査で、現在のところ「いじめ」の認知はありませんでした。しかし、「いじめ」は、いつでも、どこでも、誰にでも発生する可能性があるのも事実で、いじめの早期発見、積極的な認知、早期対応に取り組んでいくことが重要です。

今後も学校では、悩みや困り感を聞き取る「教育相談」をはじめ、集団生活の中で生徒が望ましい人間関係を構築できるよう継続的に取り組んでまいります。

ご家庭でもし、お子様が思い悩んでいたり、嫌な思いをしていると聞いた時には、どんな些細なことでも構いません。どうぞ学校への情報提供をお願いいたします。

【全校生徒での「いじめ撲滅宣言」】



不安や悩みがあったら相談しよう！

○悩んだり困ったりした時には、一人で悩まず家族や友達など誰にでもいいから相談しよう。
○周りの人に相談しづらい時は、電話やメール、ネットで相談できる窓口もあります。
　気軽に相談してみてください。

【相談窓口一覧】